

昨日の敵は今日の友！

九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろう？【農業編】

本単元で育成する資質・能力

(教科) 思考力・判断力・表現力 (学校) 主体性, コミュニケーション能力

- 1 日時 令和6年9月25日(水) 13:30~14:20
- 2 学年 第2学年3組 (男子14名 女子13名 合計27名)
- 3 場所 新館3F 2-3 教室

4 単元について

○ 単元観

本単元は、学習指導要領地理分野C日本の様々な地域(3)日本の諸地域・(4)地域の在り方を受けて設定している。

(3) 日本の諸地域

次の①から⑤までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。

- ① 自然環境を中核とした考察の仕方
- ② 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方
- ③ 産業を中核とした考察の仕方
- ④ 交通や通信を中核とした考察の仕方
- ⑤ その他の事象を中核とした考察の仕方

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること。

(イ) ①から⑤までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 日本の諸地域において、それぞれ①から⑤までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

(4) 地域の在り方

空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。

(イ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

この単元では、社会の見方・考え方である空間的相互依存関係(全ての場所は交通や通信等によって他の場所や地域と結び付いているという考え方。「そこは、それ以外の場所とどのような関係を持っているか。」)や地域(固有の要素により特徴づけられた一定の空間的広がりを持つ区域のこと。)

などに関わる視点に着目して、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することが主なねらいであり、これらを通して、日本の諸地域の地域特色や地域の課題と共に事象感の関係を理解できるようになることが求められている。

小学校の学習においては、尾道とは大きく異なる自然環境を有する地域（高地でのキャベツ栽培や、大きな河川付近に囲まれた輪中地域、日本海側の豪雪地帯など）での人々の暮らしについて、資料を基に比較・考察することを行っている。

中学1年生では、世界の気候と地域の特色について、衣類や食事、住居、宗教などをもとにして、それらを日本やすでに扱った地域と比較をしながら、特徴をまとめていくという、空間的相互依存関係や地域に着目した学習をすでに行っている。

本時では、九州地方の自然環境は人々の暮らしにどのような影響を与えているかを様々な資料から多面的・多角的に考察するだけでなく、それまでに扱った北海道との比較・関連づけを行うことを通して日本の地域的特色や課題を見いださせる。既習事項や資料等を活用しまとめていくことを通して、地理的分野の見方・考え方を習得する重要な単元である。

なお、これら日本の諸地域で身に付けた、見方・考え方は「(4)地域の在り方の学習」で尾道の未来を考えていくための重要なツールとなる。うわべだけの学習にならないよう、各地域の課題やよさを図や言葉にしてまとめながら考えられるようにしていきたい。

○ 生徒観

本学級では、積極的に発言をする生徒が多く、学習の内容によっては生徒が自ら疑問を見つけ課題の解決に意欲的に取り組むことができる。表1にある生徒アンケートの結果からも、資料を関連付けながら考えたり、他の地域との比較を行いながら考えを深めたりするなど、社会科で必要な見方・考え方を働かせながら学習に参加しようとする姿勢が見られる。一方で、そのような見方・考え方の難易度が高いことから③の項目が他と比べて非常に低い数値であることが明らかになった。

表1 生徒アンケート

	本学級	学年	差
①社会の学習は好きだ	90%	86%	+4%
②社会の学習は大切だ	95%	92%	+3%
③地理の学習は好きである	74%	66%	+8%
④地理の授業では、学習の課題について自分なりに「たぶんこうではないか」などと予想しながら考えていますか	92%	86%	+6%
⑤地理の授業では、複数の資料を組み合わせながら答えを書くことができますか？	83%	70%	+13%
⑥社会の授業では、友達と話し合うなどして自分の考えを、しっかり言うことができているか？	91%	89%	+2%
地理の学習をするときに、意識していることや頑張っていることは何ですか？（自由記述・抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をまとめること ・共通点や違いを見つけること ・既習事項を活用し、地域を見ていくこと ・話を聞いてプリントにまとめること ・暗記すること ・実際に頭の中でイメージする 		

○ 指導観

単元観・生徒観でも述べているとおり、資料の読み取りを通して、他地域との違いや共通点を探し出した学習を行っているため、生徒の中でそれらを意識しているという意見が少なくなかった。

一方で、社会科だけに限らないが記述的知識や分析的知識だけで精一杯の生徒が一定数いることから指導に当たっては、生徒の実態をもとに情報量を精選し、中単元で着目するポイントを指定しながら授業作りを行うことを通して少しずつ知識や地理的な見方・考え方が身につくことができるようにする必要があったと考える。

つまり小単元で考えると、自然の特色や産業の特色など、その地域の全てを網羅しようとするがあまり膨大な情報量となってしまう、生徒への負担が大きくなる。そのため、北海道から九州までの各地域の特色を、①自然環境、②人口、③産業、④交通・通信、⑤伝統的な文化の5つの中からその地域にあった内容を1つ選択し、それを中核として内容を扱っていくようにする。

単元での学習は、北海道地方（自然環境）、中部地方（産業）、東北地方（交通）、関東地方（人口）、九州地方（自然環境）、近畿地方（伝統的な文化）、中国・四国地方（人口）の順に進めてい

く。最初に自然環境や産業を中核とした地域を扱い、具体的な関係が明確に捉えられるようにすることで、抽象的な概念を考えることが難しい生徒への配慮を行っている。また、北海道地方を最初に扱う意図として、①北海道は尾道とは離れた場所で、気候が大きく違うため、生徒が違いや共通点を思考しやすい。②様々な農業が行われているが、歴史的・地理的な背景が存在するため、生徒にとってこれからの学習に必要な視点の下地を醸成することができる。③九州は、北海道や関東・中部で扱われるような事象が出てくるため、共通点や違いをまとめやすい。ということが挙げられる。

1時間あたりの授業では、その地域の特徴を教師が全ての知識を抑えていくのではなく、写真やグラフなどの資料を用いながら課題を追求する作業を通して、気候や地形、人々の暮らしやすさなど様々な要素が絡みながら「地域」が成り立ち、特徴ある違いや普遍的な共通点となっていることを生徒自身が気づけるようにしていくことで、「社会＝暗記科目」という生徒のイメージを覆したい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、 自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	
レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。	
レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	
レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の力も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- (1) 日本の諸地域について、地域的特色や課題について理解すること。また、①自然環境、②人口、③産業、④交通・通信、⑤伝統的な文化など特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解すること。【知識・技能】
- (2) 日本の諸地域において、それぞれ①自然環境、②人口、③産業、④交通・通信、⑤伝統的な文化までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。【思考・判断・表現】
- (3) 日本の諸地域について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うこと。【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
日本の諸地域について、地域的特色や課題について理解している。 ①自然環境②人口③産業④交通・通信⑤伝統的な文化など特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	日本の諸地域において、それぞれ①自然環境②人口③産業④交通・通信⑤伝統的な文化までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の諸地域について、主体的に探究しようとしている。

8 指導計画（全31時間）

教科・領域の本質的な問い

日本は、誰にどんな影響を受けて、どのように発展したのか。

時間	学習課題 ねらい 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
北海道地方					
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題：北海道の自然環境の特徴とは？ ねらい：北海道の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道は、亜寒帯気候で冬の寒さは非常に厳しい。西側と東側で冬の降水量に違いが見られるのは、中央部に山地・山脈があるためである。 ・北海道の気候や地形を理解することを 	態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通して北海道の気候や地形の特徴を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方について、気候や地形をもとに人々の生活について予想している。 〔振り返り〕

	通して、人々の生活と気候に関係について学習の見通しを持たせる。				
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">昨日の敵は今日の友！</p> <p style="text-align: center;">寒冷な気候や広大な自然の中で、人々はどのように生活や産業を発展させてきたのだろうか</p>					
2	<p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 寒冷な気候や広大な自然の中で、人々はどのように生活や産業を発展させてきたのだろうか（生活編）</p> <p>ねらい：人々の暮らしを自然環境と関連付けながら理解することができる。</p> <p>・二重窓や屋根の構造などをから、自然環境は人々の暮らしに大きな影響を与えている。 ・大量の雪を活用したイベントや空調設備など、利雪を行っている。</p>	知		<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の人々の暮らしの特徴を生活・除雪・利雪に分けた上で、自らそれらにあった写真を選択してスライドにまとめる。 ・グループごとの交流を通して、自らの学びを深める。 ・標題にあった資料と文章を自ら選択しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々は環境にあった暮らしをするだけでなく、環境を活かす取り組みを行っていることを理解している。
3	<p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 寒冷な気候や広大な自然の中で、人々はどのように生活や産業を発展させてきたのだろうか（農業編①：石狩平野）</p> <p>ねらい：石狩平野で農業が盛んになった理由を理解できる。</p> <p>・石狩平野は亜寒帯気候であったことから、泥炭の土地が多くあり農業に不向きであった。 ・明治時代に屯田兵が北海道を開拓する際に、客土が行われたことをきっかけに日本有数の稲作地帯となった。</p>	知		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集から情報を収集し、図にまとめる。 ・グループで調べたことを相手に伝えられるようホワイトボードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が生きるために、環境を絶えず変化させてきたことを理解している。
4	<p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 寒冷な気候や広大な自然の中で、人々はどのように生活や産業を発展させてきたのだろうか（農業編②：十勝平野）</p> <p>ねらい：十勝平野で農業が盛んになった理由を理解できる。</p> <p>・十勝平野での農業は、火山灰に強い作物を栽培し、輪作を行うことで、作物の収量を安定させている。 ・根釧台地などは、季節風と寒流の関係</p>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集から情報を収集し、図にまとめる。（前時と異なり、プリントへのヒントなし） ・グループで調べたことを相手に伝えられるようホワイトボードにまとめる。 ・石狩平野との違いを、気候や土地に着目して整理する。 	<p>畑作・酪農がさかんになった理由について、泥炭地・火山灰・気候に着目してまとめている。</p> <p>〔振り返り〕</p>

	で、夏に濃霧が多く発生し気温が上がりにくく、太陽光が遮られるため、作物が栽培しにくいいため、酪農が盛んに行われている。				
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 寒冷な気候や広大な自然の中で、人々はどのように生活や産業を発展させてきたのだろうか（観光編）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：北海道ではどのような観光が盛んなのかを気候に着目して説明できる。</p> </div> <p>・冬の降雪を活かしたイベントが行われたり、レジャーが行われたりしている。 ・泥炭地を活かした、観光（釧路湿原）が。</p>	思		<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の観光について自然環境と関連付けて調べる。 ・観光と自然環境保全の両立するための取り組みを整理する。 	自然環境を活かした観光業が盛んであること、環境保全の取り組みをそれぞれ関連付けながら説明している。
中部地方					
6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：中部地方の自然環境の特徴とは？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：中部地方の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。</p> </div> <p>中央に日本アルプスが存在し、夏は太平洋側の湿った季節風が山脈にぶつかりことで、東海地方は高温湿潤となり、冬は日本海側の湿った季節風が山脈にぶつかることで、北陸地方は日本有数の豪雪地帯となる。山脈に囲まれた中央高地は季節風の影響をあまり受けず、高地にあることから年間を通して気温が低く、降水量は少ない。</p>	態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地形や海流・季節風二着目しながら、中部地方の自然環境の図を作成する。 ・北陸、内陸、東海の各地域の産業の出荷額の違いを読み取り、理由を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域で、産業の出荷額に違いが生じている理由を、自然環境に着目して考えようとしている。 [振り返り]
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">二兎追う者、二兎を得る！？ なぜ中部地方は、農業・工業の生産額がともに高いのか？</p>					
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：二兎追う者、二兎を得る！？なぜ中部地方は、農業・工業の生産額がともに高いのか？（東海編）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：東海地方で産業が盛んな理由を理解できる。</p> </div> <p>東海地方は、原油など鉱産資源の輸入がしやすい太平洋側に位置しているため、それらを加工する石油化学コンビナート</p>	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、東海地域の産業の特色を、資料を参考に理解しまとめる。 ・東海地域で農業や産業が盛んになった理由を、自然環境・人口に着目してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工貿易の仕組みと、東海地方の位置的な関係に関連付けながら理解している。 ・近郊の農業の特徴について理解

	<p>が立地している。</p> <p>また、古くから機械を製造するなど、部品を組み立てる産業が盛んであった下地を活かして現在では自動車の製造が盛んであり、原料を輸入し、製品を作り輸出する加工貿易が盛んに行われている。</p>				<p>している。</p> <p>〔プリント〕</p>
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：二兎追う者，二兎を得る！？なぜ中部地方は，農業・工業の生産額がともに高いのか？（中央高地編）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：中央高地で産業が盛んな理由を理解できる。</p> </div> <p>・中央高地では，盆地になることから扇状地が多くあり，古くから養蚕業が盛んであった。</p> <p>・高速道路が整備されたことで，収穫した日のうちに都内へ輸送できることから，中央高地ではレタスやキャベツなど涼しい気候で栽培されやすい作物を栽培している。</p>	知		<ul style="list-style-type: none"> ・中央高地で行われている産業を歴史的背景から整理する。 ・中央高地で行われている農業について，資料をもとにグループで特徴を整理しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央高地の産業の発展について，歴史的な背景と交通に着目して整理している。
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：二兎追う者，二兎を得る！？なぜ中部地方は，農業・工業の生産額がともに高いのか？（北陸編）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：北陸地方で産業が盛んな理由を説明できる。</p> </div> <p>・北陸地方では，雪解け水を利用した稲作が盛んに行われている。</p> <p>・北陸地方では，冬になるとたくさんの雪が降り農業ができなくなるため，家の中でできる産業が行われるようになった。</p>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地方の自然環境に着目し，産業の特徴を他の地域と比較しながら図に表したり，言葉でまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地方で農業や産業が盛んになった理由を，自然環境に着目してまとめ説明する。 〔振り返り〕
東北地方					
<p>単元を貫く問い</p> <p>～雨ニモ負ケズ，風ニモ負ケズ～</p> <p>交通は東北の発展にどのように貢献したのか</p>					
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：～雨ニモ負ケズ，風ニモ負ケズ～交通は東北の発展にどのように貢献したのか【自然環境・第一次産業編】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：東北地方の自然環境はどのよ</p> </div>	態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の農業について，交通に着目してまとめる。 ・交通の発展は農業以外ではどのように東北地方の発展に寄与しているかを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網の整備は地域の発展にどのような影響を与えているのかを，積極的に調べよう

	<p>うな特徴があるか既習事項を活かしなが ら説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候の関係から、稲作を行っていない地域では、果樹栽培を盛んに行っている。また、高速道路の開通によって、新鮮な農産物が全国に流通するようになった。 ・品種改良を進めた結果、「寒さの夏」にも負けにくい米を栽培できるようになった。 				<p>としている 〔振り返り〕</p>
11	<p>学習課題：～雨ニモ負ケズ、風ニモ負ケズ～交通は東北の発展にどのように貢献したのか【第二次産業・第三次産業編】</p> <p>ねらい：東北地方で産業が盛んになった理由を、交通に着目して説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の開通によって、インターチェンジ付近に工業団地ができるようになった。新幹線の開通によって、観光客が多くの人に訪れてもらえるように、東北地方の県同士が協力しながら祭りの期日を設定している。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで産業が盛んな中部地方と比較しながら、交通網の発達がどのように北陸地方の発展に寄与しているかをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路や新幹線の開通によって、工業が盛んになったり、観光客が増加したりしていることを説明できる。 〔振り返り〕
関東地方					
12	<p>学習課題：関東地方の自然環境の特徴とは？</p> <p>ねらい：関東地方の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野が多く、日本の首都東京があるため、関東地方は多くの人々が集まる。 	態		<ul style="list-style-type: none"> ・地形に着目して、関東地方に人々が多く集まる理由についてまとめる。 	<p>人口の多い関東地方と、自然環境にはどのような関わりがあるかを主体的に調べようとしている。</p>
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">～来る者拒まず、去る者おらぬ！？～</p> <p>関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか？</p>					
13	<p>学習課題：～来る者拒まず、去る者おらぬ！？～関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか？【首都東京編】</p> <p>ねらい：首都東京はどのような機能が</p>	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、資料を読み取りながら、首都東京の役割について整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都東京の役割とそれに伴う人々の動きを、資料を参考にしながら整理している。

	<p>あるのかを理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京は、政治や経済の中心地であり、日本の首都として機能しているため、人々が多く集中しやすい。 ・地価が高いため都県境を越えて通勤する人が多く、それに合わせるように交通網も整備されている。 				[プリント]
14	<p>学習課題：～来る者拒まず，去る者おらぬ！？～関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか？【生活編】</p> <p>ねらい：人口が集中することの良さや課題について整理し説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が集中することによって，過密やヒートアイランド現象などの都市問題が生じている。対策として都市機能の分散や，都市で発生しやすい災害からからの防災・減災対策が行われている。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が東京に集中することで，どのような良さや課題が発生するかを資料から読み取る。 ・グループで様々な課題と課題解決への取り組みを関連付けながらウェビング図にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京で発生している問題を，人口の集中という点に着目して，考察し説明している。〔振り返り〕
15	<p>学習課題：～来る者拒まず，去る者おらぬ！？～関東地方における人口の集中は，人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか？【産業編】</p> <p>ねらい：関東地方で産業が盛んな理由を，工業・農業それぞれの背景に着目して整理し説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の多い関東地方の人々の生活をフォローするため，食品製造や印刷業など生活に密着した製品の製造が盛んに行われている。 ・近隣の県では，関東地方の人々の食をフォローするため近郊農業が行われ，発達した高速道路を通過して東京の市場へ出荷される。 	思		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで関東地方の工業の特徴を，人口に着目しながら中部地方・東北地方の工業との違いも意識しながら，ホワイトボードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方の産業を，他の地域と比較関連付けながら説明している。
九州地方					
16	<p>学習課題：九州地方の自然環境の特徴とは？</p> <p>ねらい：九州地方の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。</p>	知		<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を用いながら，九州地方の地形を整理する。 ・九州地方の火山の数を調べ，日本の他の地域と比べる。 ・九州地方の台風の数を 	九州地方の自然環境の特徴について，他の地域と比較しながら理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・気候が比較的暖かいことを理解する。 ・台風や火山などの自然災害が多く発生することを力する。 			調べ、日本の他の地域と比べる。	
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">昨日の敵は今日の友！</p> <p style="text-align: center;">九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろうか？</p>					
17	<p>【本時】</p> <p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろうか？ 【農業編】</p> <p>ねらい：九州の農業の特色について、自然環境と関連付けながら説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州南部では、火山灰が多く稲作に適さない ・九州北部では、大きな河川があることで洪水が度々起った。 ・九州南部では、火山灰でも栽培できる畜産や茶の栽培が盛んに行われるようになった。 ・九州北部では、温暖で豊富な降水量を生かして二毛作を行っている。 	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の ・資料や既習事項から、九州地方の農業の特色についてウェビング図を用いながら整理する。 	九州地方の農業の地域的特徴について、資料を関連付けながら考える活動を通して、①自然環境が人々の農業にどのような影響を与え、また②人々はどのように自然にアプローチし農業を行っているかを理解し説明している。 〔振り返り〕
18	<p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろうか？ 【暮らし編】</p> <p>ねらい：九州の人々の暮らしについて、自然環境と関連付けながら説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの国との距離が近く、ビジネス・観光で多くの交流がある。 ・明治時代から工業が盛んである一方で、公害による被害が増加したため、人々や企業が率先して環境に配慮するような暮らしを行うようになった。 	知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を参考にして、九州地方と海外の位置的関係を理解する。 ・時代背景と現在の暮らしの様子に着目して、環境と人々の暮らしをまとめる。 	・自然環境が人々の生活にどのような影響を与え、人々はどのように自然にアプローチしているかを理解している。 〔プリント〕
19	<p>学習課題：昨日の敵は今日の友！ 九州地方の人々は、自然環境とどのよ</p>	思		<ul style="list-style-type: none"> ・資料や既習事項から、南西諸島の産業の特色について図を用いながら整理する。 	南西諸島について、自然環境に着目して、資

	<p>うに向き合い利用してきたのだろうか？ 【南西諸島編】</p> <p>ねらい：南西諸島の地理的な特色について、自然環境と関連付けながら説明できる。</p> <p>・南西諸島の人々は、暖かな気候を活かした農業や観光業を行っている。</p>				料を関連付けながら暮らしの特徴を説明している。
近畿地方					
20	<p>学習課題：近畿地方の自然環境の特徴とは？</p> <p>ねらい：近畿地方の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。</p> <p>・近畿地方は南部と北部で気候に違いが見られる。</p> <p>・南部では、夏の湿った季節風が紀伊山地にぶつかるため、多くの雨が降る。</p> <p>・北部では、冬の季節風が山地にぶつかるため冬に雪が降る。</p>	知		<p>・近畿地方の地形や気候を、雨温図と地図帳を読み取りながら整理する。</p>	<p>・近畿地方の気候と地形の関係を理解している。</p>
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">SDGsの生まれ故郷！？</p> <p>近畿地方では、人々の生活と環境をどのように両立し持続的に発展してきたのだろうか？</p>					
21	<p>学習課題：SDGsの生まれ故郷！？近畿地方では、人々の生活と環境をどのように両立し持続的に発展してきたのだろうか？【生活・産業編】</p> <p>ねらい：近畿地方では、環境を保全するために、どのような取り組みを行っているのかを理解できる。</p> <p>・環境を保全する背景として、人々の生活に支障が出たため、環境保全への考え方が浸透したこと、複数県で協力しながら対策を行っている。</p>	知	○	<p>・琵琶湖の水で生活する人々の努力や環境保全のための取り組みを、資料や動画や資料を見ながら整理する。</p> <p>・公害が発生しないような発展を目指した結果、環境に配慮しながら製品を製造できるようになったことを理解する。</p>	<p>・人々が安心・安全な生活を行うための環境保全の取り組みを理解している。</p> <p>・持続的な産業の発展をするための取り組みを理解している。</p> <p>[プリント]</p>
22	<p>学習課題：SDGsの生まれ故郷！？近畿地方では、人々の生活と環境をどのように両立し持続的に発展してきたのだろうか？【歴史編】</p> <p>ねらい：近畿地方では、歴史的景観を</p>	思	○	<p>・資料や教科書の内容から、町並み保全のための取り組みをまとめる。</p> <p>・動画を視聴し、学びを深める。</p>	<p>・歴史的景観を保全することの意義を理解し、どのような工夫が見られるかを説明して</p>

	<p>保全するために、どのような取り組みを行っているのかを理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な景観を保全するために、様々な条例やルールを議会や住民が整地することで、自分たちの手で景観を保全している。 				いる。〔振り返り〕
23	<p>学習課題：SDGsの生まれ故郷！？近畿地方では、人々の生活と環境をどのように両立し持続的に発展してきたのだろうか？【第一次産業編】</p> <p>ねらい：近畿地方では、第一次産業と環境保全を両立するために、どのような取り組みを行っているのかを理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部では高温多雨という特徴を活かした、林業が盛んに行われている。持続的な生産が可能となるよう、補助金や機械化など働きやすい環境が整えられつつある。 	知		<ul style="list-style-type: none"> ・林業の重要性について理解する。 ・林業の課題について、振り返る。 ・和歌山県や三重県で行われている、林業を持続的に進めていくための取り組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業を持続的に進めていくための人々の努力や取り組みについて、理解している。
中国・四国地方					
24	<p>学習課題：なぜ、尾道はなかなか警報が出ないのだろうか？</p> <p>ねらい：中国・四国地方の自然環境の特徴を気候や地形を基に理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南四国や山陰は、山地があるため季節風の影響で、大雨となったり豪雪となったりするが、瀬戸内はその間に挟まれているため、季節風の湿った風が届きにくく、雨や雪が少ない。 	態	○	<ul style="list-style-type: none"> ・南四国の気候の特徴を、資料・地図帳・雨温図を使って説明する。 ・山陰の気候の特徴を、資料・地図帳・雨温図を使って説明する。 ・瀬戸内の気候の特徴を、資料・地図帳・雨温図を使って説明する。 	中国・四国地方の結びつきについて、積極的に調べようとしている。〔振り返り〕
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">「のぞみ」の先に「ひかり」はあるのか？</p> <p style="text-align: center;">交通の発展は中国・四国地方にどのような影響を与え、これからどうなっていくのか？</p>					
25	<p>学習課題：「のぞみ」の先に「ひかり」はあるのか？交通の発展は中国・四国地方にどのような影響を与え、これからどうなっていくのか？【暮らし編】</p> <p>ねらい：中国・四国地方は、交通の発展によってどう変化していったのかを</p>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで橋の開通によって、人々の生活がどのように変化したのかを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を関連付けながら、交通の変化によって人々の生活も変わってきたことを読み取り説明している。

	<p>説明できる。</p> <p>・海上輸送メインの時代から、橋の開通によって自動車輸送メインの時代となったことで、人や物の移動が頻繁になった。</p>				る。〔振り返り〕
26	<p>学習課題：「のぞみ」の先に「ひかり」はあるのか？交通の発展は中国・四国地方にどのような影響を与え、これからどうなっていくのか？【産業編】</p> <p>ねらい：中国・四国地方の農業は、どのような特徴があり、交通の発展によってどう変化していったのかを整理し説明できる。</p> <p>・高速道路も港湾も近いため、原料の輸入や輸送に便利である瀬戸内では、古くから工業地域として発展していった。</p> <p>・近年では、産業の空洞化に伴って先端技術産業に力を入れている地域もある。</p>	知	○	<p>・複数の資料を関連付けながら、交通の変化によって人々の生活も変わってきたことをまとめる。</p>	交通の発達によって、中国・四国地方の産業はどのような影響を受けたのか理解している。 〔プリント〕
27	<p>学習課題：「のぞみ」の先に「ひかり」はあるのか？交通の発展は中国・四国地方にどのような影響を与え、これからどうなっていくのか？</p> <p>ねらい：交通や通信によって中国・四国地方はどのような恩恵を受け、また課題が生じているかを理解できる。</p> <p>・過疎化が進行した一方で、ICTを用いた病院や配達など新たなインフラの整備も始まっている。</p>	知		<p>・中国地方の課題を資料から読み取る。</p> <p>・中国地方で課題の解決のために、どのような取り組みが行われているのかを整理する。</p>	<p>・交通・通信の発達によって、中国・四国地方はどのような課題と恩恵を受けているのかを理解している。</p> <p>プリント</p>
地域の在り方					
<p>単元を貫く問い</p> <p style="text-align: center;">君たちはどうしたいか！？</p> <p style="text-align: center;">学習を振り返りながら、尾道の未来を描いてみよう！</p>					
28	<p>学習課題：君たちはどうしたいか！？学習を振り返りながら、尾道の未来を描いてみよう！</p> <p>ねらい：日本の諸地域を学んだ知識や見方・考え方を活かしながら、将来の尾道の在り方を提案できる。【情報収集編】</p>	知		<p>・社会科で学習した視点を振り返りを行う。</p>	<p>・尾道市を調べる上で必要な視点や考え方を理解している。</p>

	<p>※学習指導要領（４）地域の在り方の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の諸地域で学習した，空間的相互依存関係や地域に着目して尾道市の良さや課題の背景を探る準備をする。 				
29	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：君たちはどうしたいか！？ 学習を振り返りながら，尾道の未来を描いてみよう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：日本の諸地域を学んだ知識や見方・考え方を活かしながら，将来の尾道の在り方を提案できる。【情報収集編@よさ】</p> </div> <p>※学習指導要領（４）地域の在り方の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 尾道市の良さについて調べ，「なぜその良さがあるのか」「その良さは，他の地域をどのように結び付いているのか」など，空間的相互依存関係や地域に着目してまとめることができる。 	思		<ul style="list-style-type: none"> 情報を集め，スライドに整理する。 他のグループと交流を行う ただ単に「良さ」を集めるのではなく，その良さがどのような背景で成り立っているのか，またそれが他の地域でどう活かされたり，異なっていたりするのかを考えながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市の良さについて調べ，まとめようとしている。
30	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：君たちはどうしたいか！？ 学習を振り返りながら，尾道の未来を描いてみよう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：日本の諸地域を学んだ知識や見方・考え方を活かしながら，将来の尾道の在り方を提案できる。【情報収集編@課題】</p> </div> <p>※学習指導要領（４）地域の在り方の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 尾道市の課題について調べ，「なぜそのような課題があるのか」「その課題は，他の地域をどのような共通点や違いがあるのか」など，空間的相互依存関係や地域に着目してまとめることができる。 	思		<ul style="list-style-type: none"> 情報を集め，スライドに整理する。 他のグループと交流を行う。 ただ単に「課題」を集めるのではなく，その課題がどのような背景で成り立っているのか，またその課題は尾道市の「良さ」とどのような関係を持っているのかなど複数の資料から関連付けながら考えながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 尾道市の課題について調べ，まとめようとしている。
31	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題：君たちはどうしたいか！？ 学習を振り返りながら，尾道の未来を描いてみよう！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい：日本の諸地域を学んだ知識や見方・考え方を活かしながら，将来の尾道の在り方を提案できる。【まとめ】</p> </div> <p>※学習指導要領（４）地域の在り方の内</p>	態	○	<ul style="list-style-type: none"> 空間的相互依存関係・地域に着目して考えた，尾道市の在り方について発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな取り組みを行うべきか，取り組みの工夫や手立てなど尾道市の未来について積極的に関わろうとしている。〔振り

容				返り]
・学習を通して尾道市の未来図を提案する				

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○九州地方の農業の地域的特徴について、資料を関連付けながら考える活動を通して、①自然環境が人々の農業にどのような影響を与え、また②人々はどのように自然にアプローチし農業を行っているかを理解し説明できる。

①、②について説明する際の、まとめの具体例は次の通りである。

①九州南部では、火山灰が多く稲作に適さない。

九州北部では、大きな河川があることで洪水が度々起った。

②九州南部では、火山灰でも栽培できる畜産や茶の栽培が盛んに行われるようになった。

九州北部では、温暖で豊富な降水量を生かして二期作を行っている。

(2) 本時の評価規準と生徒記述の例

資料や既習事項から、九州地方の農業の特色についてウェビング図を用いながら整理し説明している。

【思考力・判断力・表現力】

生徒の記述例

九州地方は、火山灰が多い地域や冬でも暖かい地域など、様々な環境に合わせた作物を栽培している。都市に近い地域では、都市への出荷向けの野菜を栽培している。

(3) 準備物

・クロムブック・ワークシート・資料

(4) 本時の流れ（17時間目／全31時間）

過程	□学習活動 教師と生徒のやりとり	指導上の留意事項 (○) ・予想される生徒の反応 (・)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
1	課題設定	10分	

導入

□北海道地方の農業産出額のグラフを見る。

教師：北海道地方の産出額が地域ごとに違っているのは何でだった？
(ペアで説明する。)

生徒：中央部は泥炭地だった場所に客土を行うことによって、稲作が盛んになった。南東部では火山灰でも栽培したり飼育できるじゃがいもや酪農が盛んになった。

□鹿児島県と佐賀県の農業生産割合のグラフを見る。

教師：佐賀県と鹿児島県の違いって？

生徒：鹿児島は畜産が多い。佐賀はまんべんなく色々なものを生産している

教師：なぜこのような違いが生じるのだろう？

生徒：動物は暑いところが好きだから
佐賀県は大きな川があるか米や野菜などを栽培しやすいから
鹿児島県は火山があつて稲作がしにくいから。

○電子黒板で資料を提示することで、違いを気づかせやすくする。

○既習事項の復習をすることで、学習の見通しを持たせる。

○発言をしやすい雰囲気をつくるために、ペアで説明する活動を設定させる。

○地域ごとの違いは、自然環境が大きく関わっていることを全員に理解させる。

○生産額ではなく、割合に着目させることで、九州地方も地域によって生産に違いがあることに気づかせる。

○違いについて、地理的な事象が関係しているということを抑える。

導入の工夫

ICTの活用

単元を貫く問い

学習課題

昨日の敵は今日の友！

九州地方の人々は、自然環境とどのように向き合い利用してきたのだろう？【農業編】

ねらい

九州地方の農業の地域的特徴について理解し説明できる。

2 探究の進め方を知る。10分

展開・前半

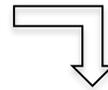
□活動の説明を聞き、見通しを持つ。

教師：色々な予想が出ていましたね。気候や土地の性質に着目している意見もあつて、今までの学習を活かしながら考えようとしているのが伝わってきます。

いまから実際に2つの県の資料を見ながら、九州地方の農業の特徴をまとめてもらいます。

まとめ方は、グループでそれぞれ佐賀と鹿児島に分かれて、佐賀を調べるグループは1・2・3班へ、鹿児島を調べるグループは4・5・6班へ移動して、他の班と協力して資料を読み取ってください。読み取ったものはワークシートへ記

○板書に移動やグループ分けを示す。



黒板

佐賀 佐賀 佐賀

鹿児島 鹿児島 鹿児島

話し合い活動

	入してください。 読み取りが終わったら、自分の班に戻って、九州地方の農業の特徴を、①鹿児島と佐賀の違いに着目②他の地域に着目してホワイトボードにまとめてください。	○教師は机間巡視を行うことで、資料の読み取りの補助を行う。	
3 探究し、説明をまとめる。[20分]			
展 開 ・ 後 半	<input type="checkbox"/> グループ活動のまとめを行う 教師 ：1班は2班と、3班は4班と自分たちの意見を交流してください。 教師 ：グループごとに佐賀県の農業と鹿児島県の農業の特色を自然環境と関連付けながら図にまとめてみよう。 <input type="checkbox"/> 4人班で、ホワイトボードに考えを整理する。	○自分の調べた内容を、同じ斧を調べた別の班に説明することで、班活動の際に自信を持って行えるようにする。	
4 探究した結果を説明する。[10分]			
ま と め ・ 終 末	<input type="checkbox"/> 発表の進め方を知る。 <input type="checkbox"/> 佐賀県をまとめた班と鹿児島県をまとめた班で意見の交流を行う。 <input type="checkbox"/> 教師の説明を聞き、本時のまとめを行う。 <input type="checkbox"/> 次時の内容を確認する。 <input type="checkbox"/> 振り返りに、今日の授業で、大切だと思ったことを記入し、振り返りを行う。	○班でまとめた内容を全体で交流する。(3グループ程度)	九州の農業の特色について自然環境と関連付けながら、表現している。 【思考力・判断力・表現力】

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度 (評点・レベル)	評価規準
B (おおむね満足できる)	九州の農業の特色について自然環境と関連付けながら、表現している。
C (努力を要する)	九州の農業の特色について自然環境と関連付けながら、表現していない。

(5) 板書計画

単元 課題 ねらい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 北海道：地域ごとの違い ・気候 ・泥炭→客土→稲作 ・火山灰→じゃがいも </div>	鹿児島県の特徴 写真等の資料	佐賀県の特徴 写真等の資料	
	WB	WB	WB